

# 2024年4月度 中部品質工学研究会 議事録

1. 開催日時 2024/4/6 (土) 10:00~16:00

2. 開催場所 中部品質管理協会

3. 会員参加者<敬称略> S: オンサイト出席・L: オンライン出席、欠: 欠席、書: 書記、休: 休会

大見	S	牧野	S	横尾	S	城越	S	合田	欠	伊藤	S	舟山	S	出島	S
福田	休	水田	S	山中	S	山口(展)	S	黒田	S	鈴木	S	池田	書	山口(直)	S
北村専務	S	前田	S												
小西	休	中山	休	李	休	河合	休	則尾	休	杉浦	休	三浦	休		

4. 研究会内容

## 1) 「基本機能ハンドブックの第4章「通電機能」の輪講」(大見)

基本機能ハンドブックの第4章「通電機能」の輪講を行った。  
内容は以下の4つの項目を説明した。  
① 電気回路(パターン)の形成技術(エッチング、フォトリソグラフィ、各種電気回路印刷技術)  
② 電気・電子部品の評価(回路素子、各種センサなど)  
③ 締結技術(かしめ、溶接、はんだ付け、ボルト締め、接着など)  
④ 材料評価  
全体としては以下のような解説を行った。  
電気回路系や抵抗素子などは基本機能における電圧-電流特性での直線性が良いため、信号固定の評価の方法(動的静特性)もある。また「誤差因子」も非常に重要である。通電機能は環境、特に温湿度によって抵抗値が変化するため市場におけるお客の使用条件は重要である。また劣化による抵抗値の変化もあるため特にデバイスには電氣的なストレスを与えて特性値の劣化なども重要である。  
それから通電機能は「標示因子」もよく出てきて特に「周波数」の扱いは「標示因子」にするか「誤差因子」にするかは固有技術的によく検討しなければならない。  
あと非線形特性における標準SN比の感度の1次成分の考え方で議論があった。また輪講本のSN比計算の中にはエネルギー比のSN比が使えるという提案もあった。

## 2) カテゴリーデータの設定方法について(牧野)

今年の研究として、MT法関連のデータベースの作り方を研究することとした。とくに、カテゴリーデータの扱いについて、すでに、結果が明確な、ゴルフのデータを使用することとした。特に、風向きと季節(月)を、数値データのように、ゴルフの打数が、良い順番に1~6の数値にする方法と、「0」と「1」で、表示する方法を、MT法とT法で、計算し、データベースの作り方を比較して行くこととする。

## 3) RQESの予稿内容の確認(黒田、山口、山中、前田)

2024年RQESで発表予定の4名の予稿をレビューした。

## 4) 事務局連絡

2024年度の合宿の場所 愛知健康の森プラザホテルに決定。  
日程予定11/9~11/10。  
研究会名簿に、所属部門名を追加した。